



ちっぽけにならない

毎日の生活の中の行動を分析してみると、自分のために行動している時と他の人のために行動しているときに大きく分けることができます。自分のための行動も、これは今は必要ないとかさ
らに分けて、本当に直接、自分の利益に関わることでないと行動しない。もうこうなると、一日
24時間を本当に自分の直接的な利益だけを追うようになります。

人は、自分のこと以外にも、友達のためとか、困っている人のためとか、一生懸命に頑張っ
ている人に協力したりすることが大事だと思います。そのところは人間性なんだと思います。人
は自分の利益だけを追って生きていくものではないと思います。社会の構成員のすべてが自分の
利益だけ追いかけていたら社会というものは殺伐としたものになってしまうでしょう。

夢宅の「493号」に書きましたが、全校集会に参加しないで教室で塾の宿題をやっている生
徒がいました。」学年の先生が注意すると「生徒会の集会に出ても何も意味ありません。私が
塾の宿題をやることの何が悪いのですか？」と答えていました。…… 受験はあなただけに課せ
られていることでなく、3年生みんな同じ条件です。友達が城山中学校の生徒会を盛り上げよう
と企画した集会を「何の意味もない」と言い切って、塾の宿題をすることを正当化しようとして
いる姿は、なんかとても「ちっぽけ」だなと感じました。もっと広く物事を見て、自分以外の人
の気持ちや友達のために動ける「でっかい」気持ちを持っていてほしいなと思いました。

自分の利益に、ならないと思っていることも、長い人生の中では、必ず意味が出てきます。狭
い視野で、これはやらない、これは意味はない、などとどんどん自分の世界を狭くしないように
していきましょう。